令和7年度
町政執行方針

暮らし輝き交流あふれる
四季彩のまち・かみふらのをめざして

地方税収など自主財源の大きな伸びが見込めないなかで、全収入の7割以上が依存財源という、柔軟性の乏しい財政構造となっています。

過去の地方債の償還完了に伴い償還費はピークを過ぎ減少している一方で、人口減少社会を見据え自立した地域を維持するための地域振興、少子高齢化、子育てや介護など幅広い社会福祉環境の整備をはじめ、多発する自然災害に対する応急・恒久的防災対策、老朽化が進む社会資本の長寿命化など、さまざまな行政課題に対応するための継続的な財政需要が想定されています。

さらに、町立病院の建て替えをはじめとした公共施設の改修など、大きな公共投資に伴う、公債費償還も始まっており、中長期的な見通しに基づき、活力あるまちづくりと自治体経営の安定化との両立を図っていかなければならないと認識しています。

財政的に依然として厳しい状況ではありますが、町民の皆さまが「かみふらの」に愛着を持ち、夢と希望に満ちたまちづくりを進めていくことが何よりも大切であると受け止めています。第6次上富良野町総合計画に掲げている将来像を基本に、これからを見据えたまちづくり、「活力あるまちづくり　魅力あるまちづくり　持続可能なまちづくり」を念頭に課題への対応、事業実施において緊急性や優先性などを十分考慮し、今後見込まれる財政需要に対する財源確保の状況を見極めながら、予算編成を行いました。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページでご覧ください

令和7年度町政執行方針
全文はこちらから

5つの町政運営基本方針

きれいで安全・安心な
生活環境のまち

公共施設など50カ所の照明について、温室効果ガスの排出削減、電気料金の軽減などを目的とし、年次的にLED化改修を行います。

消防・防災では、頻発する自然災害に対応するため、地域防災計画などを2年かけて見直しを行い、関係機関と連携した防災・減災の活動に取り組みます。

令和7年4月1日施行の上富良野町犯罪被害者等支援条例にのっとり、町民や事業者の理解と相互協力のもと、誰もが安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に取り組みます。

新　規

- 公共施設照明LED化事業
- 地域防災計画等改定業務
- 日の出公園ラベンダー植栽事業

みんなが元気になる
健康・福祉のまち

帯状疱疹ワクチン接種が65歳以上を対象に定期接種になることから、希望する方が接種できるよう、接種費用の助成などを行い、医療機関と連携を図りながら進めます。

病院施設改築整備については、本年度最終年となることから外構整備を実施します。


新町立病院

子育て世帯の経済的支援の取組みとして、子育て応援事業（ごみ袋交付）の継続や第3子以降の新生児の出生に対して出産祝金を支給することにより、次代を担う多子家庭を応援し、こどもの健やかな成長と保護者の経済的負担の軽減を図ります。

令和8年度より全国で本格的実施となる「こども誰でも通園制度」の実施に向け、保育士確保対策として、就労支援金、家賃補助事業を実施します。

新　規

- 高齢者施設経営コンサル事業
- 保育士等確保対策事業
- こどもの生活・学習支援事業
- 出産祝金
- 帯状疱疹ワクチン接種事業（16ページで詳しく紹介しています）

発展を支える
生活基盤の整ったまち

町道については、「道路等整備計画」の更新を図りながら計画的、効率的に整備を進めており、本年度は簡易舗装2路線、改良舗装1路線を実施します。

橋梁は、3橋の修繕工事を実施します。

情報化について、新年度から運用開始する「文書管理システム」は、意思決定手続きのデジタル化を促し、職員のDX意識改革と自治体DX推進の契機となり、引き続き町民の利便性向上に向け、電子申請などの利用や各種デジタルサービスの活用・拡大を促進し、より快適で住みやすい町づくりをめざします。

新　規

・町営住宅東町団地屋根等補修

継　続

・道路、側溝、河川、排水路及び付属施設の維持補修と簡易舗装整備
・道路・橋梁、河川整備事業

ともに生き
ともにつくるまち

自衛隊員との共存共栄のまちづくりを図るため、駐屯地と連携し、隊員が働きやすい環境を図るとともに、関係する市町村や機関、団体と連携しながら、上富良野駐屯地の規模堅持と体制強化、隊員の充足率の向上などを求める要望活動を進めていきます。

令和8年度より北海道が課税する「宿泊税」については、本町としても導入について検討、研究を進めます。

ふるさと納税事業では、地域の特産品を広くPRするとともに、地域活性化財源としての確保を図るほか、企業版ふるさと納税については、地域再生計画に基づき、「泥流地帯」映画化事業のほか、地域活性化を図るうえでの有効な財源として活用し、企業が取組む地域貢献活動と一体となったまちづくりを進めます。



ふるさと納税返礼品

活力と交流あふれる
産業のまち

農林業では、農業の生産性向上を図るため、引き続き富原・島津地区において基盤整備事業を実施するとともに、農村地域防災減災事業として実施されている日の出排水路整備事業について、事業効果の早期発現に向けて、十分な予算の確保と早期の完了について関係機関に対し要望を行います。

ラベンダー・ホップ・メロン・青シソなどの特産農作物の農家戸数の減少や農業従事者の高齢化による労働力不足への対応として、地域おこし協力隊員を増員配置。農業生産の維持、拡大につなげるとともに、将来の担い手として定着を図ります。

商工業では、アルコール類や農畜産物を活用した製品など、本町の地域特性が強い商品の付加価値をさらに高め、ブランド化を進めるとともに、キャッシュレス決済の拡充による町内消費の喚起、町外購買力の取込みと併せて後継者不足などの諸課題への対応に向けた取組みを進めます。



純米吟醸
十勝岳～泥流地帯～

観光・交流では、多くの観光客が訪れる吹上温泉保養センター白銀荘の老朽化改善に向けた維持修繕について適切に取り組みます。

ロケツーリズムなどの取組み、地域おこし協力隊や地域プロジェクトマネージャー制度などを活用し多様な施策・課題に対応する新たな人材の確保・育成を引き続き進めます。

十勝岳ジオパークでは、9月に日本ジオパーク全国大会の開催を予定していることから、関連団体や町民と一体となって全国大会の開催に向けて活動を強化します。また、今年は、ジオパーク認定後4年目にあたり、日本ジオパーク再認定審査が行われることから、ネットワーク活動の強化や地域のさらなる活性化を進め、ジオツーリズムの推進や商品開発などを通じて、課題解決に努めます。

新　規

・UIJターン新規就業支援事業
・地域プロジェクトマネージャー事業

拡　充

・地域おこし協力隊（特産農作物支援員）

継　続

・郷土館改修事業

・学校段階間の連携・接続の推進、特色ある学校づくり

幼小、小中接続時の連携を組織的に継続。特認校である東中小の教育活動を支援します。

・授業力・児童生徒理解力向上

校内研究や授業力向上を図る研修を推進します。

・学校施設

タブレット端末の更新を進め、熱中症予防対策として、エアコン、スポットクーラーの冷房設備を効果的に活用します。学校給食センターの老朽化などの課題から、「学校の給食のあり方検討委員会」を設置し、安心・安全な給食の提供について検討します。



西小学校に
導入されたエアコン

・学校運営の改善

「上富良野町業務推進計画」に基づき、校務支援システムの活用による情報や教材の共有、学習支援員などを効果的に活用します。部活動の地域移行について、他地域の状況も情報収集しながら進めます。

・学校安全教育の充実

「子どもの危機管理初期対応マニュアル」に基づき、噴火・猛暑など、災害や緊急事態から児童生徒の安全確保に向けて取り組みます。

住民会・町内会による登下校時の「見守りパトロール」など、地域総ぐるみで児童生徒の安全保持に努めます。

⑥上富良野高等学校への総合的支援

通学費や就学支援金、入学準備金の助成、介護職員初任者研修など各種資格取得への支援のほか、学校給食の提供を継続して支援します。

た選手への支援を行います。引き続き、町内の高校生以下のパークゴルフ場とスキー場リフト使用料を無料にします。

④郷土を愛し、豊かな情操と創造を育む文化活動の推進

・文化の振興、郷土館の運営

自主企画芸術鑑賞事業のほか、町民芸術鑑賞事業などの実施、文化教室を支援します。

郷土館の運営は、地域おこし協力隊の制度を活用し、専門職員として郷土学習推進員(学芸員)を募集します。

⑤生涯学習社会の実現をめざした生きがい環境づくり

・社会教育活動の推進

「人とのつながり」を中軸に、「仲間づくり、地域づくり」による持続可能なコミュニティ活動を支援します。

・社会教育施設の基盤整備

社教センターアリーナ天井改修、照明のLED化、公民館大ホール屋上と武道館屋上の防水施工、開拓記念館屋根・外壁塗装の整備を行います。各公民館分館、B&G海洋センター、パークゴルフ場など各種施設の維持管理に努めます。

令和7年度
教育行政執行方針

ふるさとに学び　人が輝き
人がつながる　かみふらのの教育

今、日本の教育環境は、少子化による学校の統廃合、1人1台タブレット端末利用によるDX(デジタル教育)の推進、教員など担い手の労働力不足、教育施設の老朽化など、多種多様な課題に対して、これまでの教育施策を変革する時代を迎えています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、2年目の昨年度を振り返ると、各学校においては運動会や学芸会などに多くの保護者や地域の皆さまが参加され、社教センターや図書館などの生涯学習関連施設においても、講座や文化祭などに多くの町民皆さまが集い、たくさんの笑顔が戻ってきた1年でした。

一方で全国的な傾向と同じく、本町においても児童生徒の体力低下や不登校児童生徒の増加傾向は続いております。社会の多様化の進展に伴い、こどもの抱える困難や課題は、より一層多様化、複雑化してきており、学校だけではなく、地域全体で児童生徒一人ひとりの状況に応じた、個別最適な支援が重要となってきています。

教育委員会では、「ふるさとに学び　人が輝き　人がつながる　かみふらのの教育」の教育理念を再確認し、「自然豊かな上富良野で、希望を抱き、自らの夢に挑戦し、実現する人」「ふるさとへの愛情と誇りをもち、共に支え合い、社会で生き抜く人」の育成をめざし、教育行政を進めていきます。



ここに掲載しているのは抜粋です。
全文は町ホームページでご覧ください

学校教育推進目標に関連する6項目

①活きて働く学力の育成

・確かな学力の育成

「課題発見・解決型」の授業を推進します。適切な生徒数による学級運営を行うよう取り組みます。

・特別支援教育の充実

就学前から関係機関と連携して中・長期的に支援し、3つの小中学校に「特別支援教育支援員」の配置、学校での医療的ケアを実施します。

・国際理解教育と情報教育、キャリア教育の充実

外国語指導助手（ALT）の配置、英語専科教員の指導への支援を実施。情報教育では児童生徒への教育のほか、SNS利用による問題行動などの未然防止を図るため、各家庭・保護者に対しても定期的に啓発します。キャリア教育では児童生徒の自ら学ぶ力を育成するため、農業体験や職場体験学習など、体験学習の充実を図ります。

②豊かな心の育成

・道徳教育、ふるさと教育の充実

教育活動全体を通じて「道徳性」を養うとともに、人間性、社会性の育成をめざす地域体験活動を行います。社会科副読本を活用し、「ふるさと学習」を進めます。

・読書活動の推進と体験活動の推進

学校や家庭、地域の読書活動の推進のほか、「SDGs」に関連した活動の推進、地域の教育資源を生かした多様な体験活動を行います。

・コミュニケーション能力の育成

授業での対話・交流場面重視のほか、話し合い活動や自分の思い・考えを発表する機会を含め、教育課程全体を通した言語活動の充実を図ります。

・いじめ・不登校を解消する取組みの充実

相談窓口の継続や、いじめ防止基本方針による取組みを促進します。一部の学年に、インターネットを活用した学級経営アセスメントツールを導入。児童生徒のSOSなどを早期に発見し対応します。

不登校児童生徒の支援で、臨床心理士などによる児童生徒のカウンセリングや保護者との教育相談体制の充実を図ります。教育支援センターの効果的な運用を図り、各関係機関と情報共有・連携し、多面的にサポートします。

③健やかな体の育成

・体力・運動能力の向上

「全国体力運動能力・運動習慣調査」結果をもとに、学校での体力づくりに向けた取組み「一校一実践」を支援。

・健康教育・食育の推進

熱中症や感染症予防に向けて、健康管理の徹底を進めます。

④学びを支える家庭・地域との連携・協働

・家庭教育支援の充実

望ましい生活習慣の定着や通信アプリの適切な使用などに関する情報を提供するとともに、学校・教育支援センターと連携した相談体制を継続支援します。

・学校と地域の連携・協働の推進

「地域コーディネーター制度」の早期配置にむけて各学校や地域との具体的な協議を進めます。

・学びのセーフティネット

ICT機器を活用した授業体制を確立します。

⑤学びを高める信頼される学校づくり

社会教育の推進目標に関連する5項目

①家庭と地域の教育力の向上、青少年の健全育成

・家庭の教育力向上

町内の認定こども園と連携し、家庭教育学級など学習機会の提供、子育て研修会などとの情報共有に努め、子育てサークルの活動支援としての施設利用を促進します。

・地域の教育力向上

「放課後クラブ・放課後スクール」の運営を継続します。

「なかよしサミット」「通学合宿」などを開催するほか、青少年海外派遣人材育成事業を行い、グローバル化や価値観の多様性に対応していく人材を育成します。友好都市提携している三重県津市に小学生を派遣し交流するとともに郷土歴史学習に取り組みます。



わくわく合宿

・団体育成

子ども会やスポーツ少年団、青少年団体協議会など自主的活動を尊重し支援します。

・青少年の健全育成

地域と学校、教育機関が連携しながら青少年が健やかに育つ環境づくりを行います。

②社会で活きる力を身に付け、持続可能な潤いのある地域づくり

・各世代の生涯学習活動の推進

幼児・青少年は、自然や生活の体験、地域資源を活かしたプログラムの研究を含め十勝岳ジオパーク推進協議会と連携し取り組みます。成人は、マイプラン・マイスタディ講座など各種学習機会を提供します。高齢者は、いしずえ大学での生きがいづくりを進めます。

・図書館運営

開館20周年を迎えることから、記念事業を実施し読書推進と図書館の利用促進に取り組みます。

③豊かな心と健やかな体を育むスポーツ活動の推進

・スポーツ活動の振興

スポーツ推進委員・スポーツ団体と協力して各種教室や大会を開催します。全国大会への出場に係る助成対象を高校生までに拡充し、さらに強化指定選手などに選出され